

令和5年度「茨城県地域日本語教育体制づくり事業」(文化庁採択)

生活者としての外国人のための
基礎日本語教育人材の養成研修

9月2日(土)～12月2日(土)

全9回

13:30～15:30 (一部16:30まで)

オンライン講義全8回と対面1回(最終回のみ)の全9回
実習(オンラインまたは対面)

参加者
募集

対象：茨城県在住の日本語教師

*応募条件あり(必ず募集要項をご確認ください)

参加費：無料

定員：10名程度

募集締切：8月23日(水)

研修の
スケジュール

9月 2日(土) オリエンテーション
在留外国人の動向、在留資格 他
9月17日(日) 課題研究①
10月 7日(土) 多文化共生社会における日本語教師の役割 他
10月14日(土) 課題研究②
10月15日(日) 地域日本語教育におけるコースデザイン①
10月21日(土) 地域日本語教育におけるコースデザイン②
10月28日(土) 課題研究③
11月11日(土) コミュニティデザインによる日本語教室づくり
12月 2日(土) 課題研究④ ふりかえり

*上記日程のほかに実習あり
日時内容等詳細は必ず募集要項をご確認ください。

事前説明会開催 オンライン

8月19日(土) 13:30～14:30

*参加希望で当日ご都合が悪い方は問い合わせ先までご相談ください。

主催 茨城県、(公財)茨城県国際交流協会

茨城県在住 の 日本語教師 の方へ

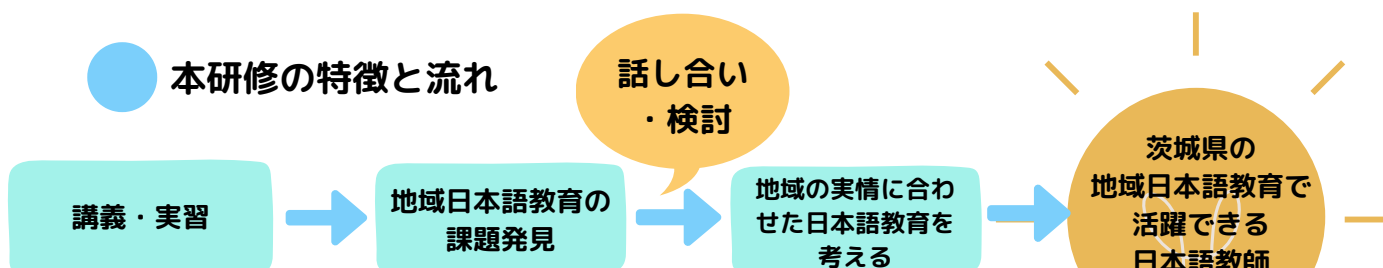
多文化共生の地域社会づくり、地域での基礎日本語教育に
皆さんの力を是非、生かしてください！

茨城県に暮らす外国人の中には、来日から日が浅かったり子育てなどの理由で
日本語に通じない方がいます。

外国人と日本人が同じ地域の構成員として、お互いに安心・安全に暮らすために
円滑なコミュニケーション支援としての日本語教育が求められています。

茨城県の事業として行われる基礎日本語教育について、一緒に考えてみませんか。

本研修の特徴と流れ



研修の講師（50音順、敬称略）

井上里鶴（麗澤大学講師 専門 日本語教育）

瀬尾匡輝（茨城大学准教授 専門 日本語教育、教育社会学）

深江新太郎（NPO多文化共生プロジェクト代表他）

萬浪絵里（特定非営利活動法人国際活動市民中心（CINGA）理事他）

山本妙子（産経ヒューマンラーニング株式会社 講師）

研修の実施方法

zoomを使った研修です。ただし最終講義は対面で行います。

本講義前に事前動画の視聴が必要な回があります。必ず視聴してください。

実習とは研修期間中に行われる基礎日本語教育モデルコースで講師補助及び講師を体験することです。

お願い

- 本講座は録画し、県、当協会、講師、文化庁補助事業の関係者と共有させていただきます。
- 配布資料の二次使用、パソコン画面の撮影等は、著作権保護のためご遠慮ください。
- 講座の様子を撮影し、個人が特定されない形で事業報告等に使用させていただきます。

申し込みについて

必ず募集要項を熟読の上、以下のURLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/Y2CpVMaTnHVWA3wd7>



申し込み用

募集要項は「茨城県国際交流協会のホームページ」からダウンロードできます。

<https://www.ia-ibaraki.or.jp/post-5618/>



募集要項

お問合せ（公財）茨城県国際交流協会 担当 仙波（地域日本語教育推進員）

（出勤日：水・木・金曜10～16時）

〒310-0851 水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階

TEL 029-241-1611 FAX 029-241-7611 MAIL iia@ia-ibaraki.or.jp